

成蹊大学 法学部 法律学科

私は入学当初、明確な進路目標は決まっておらず、漠然とした学校生活を送っていました。しかし1年生の時から先生方が熱心に教科の指導をして下さったことで、進路を決める際には迷うことなく志望する大学を受験することができました。特に英語は1年生の時から丁寧に指導をして下さり、3年間毎週末に出される課題にきちんと取り組んできたので、着実に力をつけることができました。

入試間際は、一般受験をする生徒が少ない中、心細く焦ってしまうこともありましたが、先生方に親身に指導していただいたり、同じ目標を持つ友達と励まし合ったりしながら勉強を続けることができました。日々の積み重ねがあったからこそ、合格できたのだと思います。

東京電機大学 理工学部 情報システムデザイン学系

1年次の個人面談で担任の先生に「何となく、こんな大学に進学したい」と、志望する大学や学部について相談したところ、自分にぴったりの学校・学部を紹介してくれました。東京電機大学を志望校に決めた私は、推薦での合格を目指していたので、3年間の成績を維持することはもちろん、面接練習や論文練習もくり返し行いました。そのたびに、たくさんの先生方からアドバイスをいただき、無事に志望大学に合格することができました。

理系科目は2年・3年と進級するにつれ内容が難しくなり、成績を維持することが大変でした。しかし、選択科目は少人数の演習形式の授業だったので先生にも気軽に質問でき、日々の授業の中できちんと理解し、力をつけていくことができました。

多摩美術大学 美術学部 グラフィックデザイン学科

大泉桜の美術は自由度が高いです。基礎的な技術や技法を学ぶことができますが、制作には最低限の制約がなく、自由に作品作りをすることができます。私は学校見学で卒業制作を見てそのような校風を感じ、入学を決めました。

3年生の夏までは美大受験の対策をせず、バレー部の活動に没頭していました。しかし部活を通して『集中力』『忍耐力』『精神力』を鍛えられた事により、美術の作品制作にも粘り強く取り組むことができるようになりました。多摩グラに合格できたのは、美術の先生方の指導や両親の支えだけでなく、バレー部の顧問の先生の指導のおかげでもあると思っています。大泉桜で初めて、多摩グラに合格できたらカッコいいなと考えて、入試にチャレンジしました。今は忙しくなるであろう大学生活にワクワクしています。

武蔵野美術大学 造形学部 油絵学科 油絵選考

中学校の先生に勧められたのがきっかけで大泉桜に入学しました。桜高校はやる気のある生徒にたくさんの機会を与えてくれる学校です。

例えば美術部では6人の美術科専任の先生方に、色々な視点から指導していただいてコンクールに向けた絵を描き、全国大会に出場するチャンスを手に入れました。また、3年の春には体育祭の応援団の看板作りに有志を募って参加し、大人数で1枚の巨大な作品制作に挑む、というかけがえのない体験もすることができました。このときの経験は、将来必ず自分の可能性を大きく広げてくれるものだと思っています。

このような貴重な経験が積めたのも、美術がさかんな大泉桜だからこそ、だと思っています。

東洋大学ライフデザイン学部 生活支援学科 生活支援学専攻

私は福祉分野に興味があったので、大泉桜高校を進学先として選びました。もともとは保育士を目標にしていたのですが、福祉の授業を通して介護や看護・障害者福祉について学び、たくさんの人を助けることを仕事にしたいと思うようになりました。そんな中で医療分野に関心が広がり、医療ソーシャルワーカーを目指すことにしました。

目標を実現させるため、1年生の頃から定期テストの勉強にコツコツ取り組み、3年間成績を維持して評定を上げることができました。また、入試は面接だったため、学年の先生や進路指導部の先生方に繰り返し面接指導を行っていただきました。目標を明確にし、1年生の頃から努力を重ねることが大切なのだと思います。

東京都警察病院看護専門学校

私は手話と点字を学びたいと思い、大泉桜高校に入学しました。その理由は将来の夢である看護師になろうと思った時に、障害を持った方にも安心して看護を受けてもらうために、様々な方法でコミュニケーションを取りたいと思ったからです。

授業では盲者の先生に教えていただくことで、より実践的なことを学ぶことができました。大泉桜高校での福祉の授業はとても充実したものでした。桜高校で学んだことを活かし、役立てることができるよう、これからも頑張っていきたいです。